

5. ボランティア活動の記録と広報に関する事業

(1) ボランティア情報の発信(メルマガ・ホームページ・掲示板)

i) ボランティア掲示板でのボランティア情報の紹介

大学2号館1階とボランティア活動支援センター相談窓口のあるインターネットカフェにある「ボランティア掲示板」にて、学内外のボランティア情報のポスターを掲示し、学生への周知を行った。

ii) メールマガジンの配信

センターでは、配信希望者に月1回～3回程度、不定期で「おすすめボランティア情報」をメールで配信している。新入生には、新入生アンケート(p20)実施の際に、登録希望者を募った。

・メールマガジン登録者数(2015年3月現在)

学科	1年	2年	3年	4年	合計
政治経済	20	18	8	1	47
コミュニティ	—	22	20	17	59
欧米文化	8	17	6	7	38
日本文化	22	23	19	3	67
児童	25	46	16	12	99
こども心理	22	24	39	—	85
人間福祉	22	33	52	21	128
合計	119	183	160	61	523



↑メールマガジン登録案内ポスター

・メールマガジン配信実績

月	配信回数	月	配信回数
2014年4月	2	10月	1
5月	1	11月	2
6月	2	12月	1
7月	3	2015年1月	2
8月	2	2月	1
9月	2	3月	3
	合計		22

(2) ボランティア活動支援センター広報活動

i) ホームページでの情報発信

センターの取り組みを外部へ発信することを目的として、ホームページを設置している。日々

の活動については、日本財団が提供しているコミュニティサイト CANPAN のブログ機能をホームページと連動させる形で活用している。

・ブログアクセス数

月	アクセス数	月	アクセス数
2014年4月	1,685	10月	1,432
5月	1,503	11月	1,463
6月	1,766	12月	1,532
7月	1,820	2015年1月	1,389
8月	1,878	2月	962
9月	1,593	3月	881
合計		17,904	

ii) センター広報ツールの更新

センターの存在を学内外に周知することと、学生のボランティア活動を学内外で紹介することを目的に、ポスター等の広報ツールを作成している。

※製作物は資料編p74に掲載

iii) オープンキャンパスへの参加

昨年度に引き続き、オープンキャンパスに「ボランティア活動紹介コーナー」を出展。“「変わったね！」と言われる大学生活を送ろう!” というキャッチコピーを掲げ、サポメンと共に、ボランティア活動支援センターやボランティア活動の紹介の他に、サポメンがそれぞれにボランティアを通じてどう成長したか、変化したかという話をきっかけに来場者との交流の時間を持った。

内 容：・ボランティア活動支援センターの紹介

- ・SAVE・グレイス・わかたま・ボラフェスなど、学生達の活動紹介&報告
- ・フリースペースでの交流
- ・キャンパスツアー対応「サポメンが語る before&after」

対 応：学生サポートメンバー、ボランティアコーディネーター、アドバイザー

場 所：エルピス食堂、2108教室 他

参加スケジュールとコーナー来訪人数：

参加日	来訪人数
2014年5月31日(土)	36
6月28日(土)	49
7月19日(土)	37
8月2日(土)	80
8月19日(火)	102
10月11日(土)	28
合計	332

iv) 成果と課題

オープンキャンパスに関しては、回を重ねるうちに、リピーターとなって毎回来てくれる高校生やご家族がいた。実際に、入学してくれた新入生が、「ボラセンのブースでお話して、大学生活

頑張りたいて思えた」と話してくれた時には確かな手ごたえを感じた。サポメンにとっても、ボランティアの魅力を活き活きと語れる場所でもあり、成長できるよい機会となった。また、高校生にとってあこがれの存在となれるよう、おのおのが意見を出し合い、言葉の力を磨いていたのが印象的だった。新入生アンケートでも、実際にオープンキャンパスでボラセンの存在を知った学生が多かったため、次年度以降もさらに工夫を加えて参加していきたい。

